

おまえざき



市議会だより

第46号

2016.4.5.6月

平成28年8月発行

1 議員紹介

2 第1回臨時議会・6月議会定例会

3 一般質問

5 委員会報告

議員紹介



阿南澄男



杉浦謙二



清水澄夫



増田雅伸



大澤 満



若杉泰彦



大澤博克



水野克尚



松下久己



齋藤 洋



阿形 昭



植田浩之



櫻井 勝



渥美昌裕



河原崎恵士

新たな議会構成決まる

平成28年4月22日に開催された第1回臨時議会において、正副議長の選挙が行われ、議長に増田雅伸氏、副議長に若杉泰彦氏が当選しました。
 そして、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会などの委員が選任されました。
 また、市長から提出された条例改正の専決処分、監査委員の選任について審議され、原案どおり承認（同意）されました。

◎条例

〔専決処分報告・承認〕
「御前崎市税条例の一部を改正する条例の制定」
 地方税法の一部改正に伴い、修正申告により納入する延滞金について、軽自動車税のグリーン化特例による税率について、再生可能エネルギー発電の課税標準の軽減についての改正（全員一致で承認）

〔御前崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定〕
 地方税法の一部改正に伴い、低所得者に対する軽減措置の対象を拡大するための改正（全員一致で承認）

◎人事

「監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて」
 監査委員に大澤満議員を選任することに同意（全員一致で同意）



議長
増田 雅伸

好きな言葉 思いやり・一生懸命
 趣味 オートバイ・マリンスポーツ
 開かれた議会運営に努め、融和を図りながら、是々非々で臨み、市民の負託に応えるよう議会としての使命を果たしてまいります。



副議長
若杉 泰彦

好きな言葉 一期一会
 趣味 読書
 議長を補佐するとともに、市民福祉の向上及び御前崎市の特色を活かした発展に努めてまいります。

| 常任委員会 | |
|-----------------|--|
| 総務経済委員会 | ◎清水澄夫 ○阿形 昭 増田雅伸 大澤 満 水野克尚 齋藤 洋 植田浩之 櫻井 勝 |
| 文教厚生委員会 | ◎大澤博克 ○松下久己 阿南澄男 杉浦謙二 若杉泰彦 渥美昌裕 河原崎恵士 |
| 議会運営委員会 | |
| | ◎阿南澄男 ○杉浦謙二 清水澄夫 大澤 満 大澤博克 水野克尚 |
| 特別委員会 | |
| 一般会計予算決算審査特別委員会 | ◎阿南澄男 ○杉浦謙二 清水澄夫 増田雅伸 大澤 満 若杉泰彦 大澤博克 水野克尚 松下久己 齋藤 洋 阿形 昭 植田浩之 櫻井 勝 渥美昌裕 河原崎恵士 |
| 原子力対策特別委員会 | ◎杉浦謙二 ○大澤博克 阿南澄男 清水澄夫 増田雅伸 大澤 満 若杉泰彦 水野克尚 松下久己 齋藤 洋 阿形 昭 植田浩之 櫻井 勝 渥美昌裕 河原崎恵士 |
| 総合開発計画策定特別委員会 | ◎杉浦謙二 ○大澤博克 阿南澄男 清水澄夫 若杉泰彦 水野克尚 松下久己 植田浩之 渥美昌裕 |
| 議会広報特別委員会 | ◎若杉泰彦 ○河原崎恵士 植田浩之 櫻井 勝 渥美昌裕 |

◎委員長 ○副委員長

6月議会定例会

6月定例会を6月3日から6月30日までの28日間の会期で開会しました。

■市議会 6月定例会で審議した議案等

| 議案番号 | 件名 | 概要 | 審議結果 |
|--------|------------------------------------|--|----------|
| 議案第55号 | 財産の取得について | 高規格救急自動車1台購入 | 全員一致で可決 |
| 同意第2号 | 監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて | 加藤 英男 氏（白浜区） 選任 | 全員一致で同意 |
| 同意第3号 | 御前崎市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて | 吉村 勝 氏（下岬区） 再任 | 全員一致で同意 |
| 同意第4号 | 御前崎市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて | 紅林 幸枝 氏（池新田） 再任 | 全員一致で同意 |
| 同意第5号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて | 下村 和夫 氏（下岬区） 再任 | 全員一致で同意 |
| 同意第6号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて | 渥美 周逸 氏（新野） 選任 | 全員一致で同意 |
| 同意第7号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて | 沢瀬 康雄 氏（池新田） 選任 | 全員一致で同意 |
| 同意第8号 | 副市長の選任につき議会の同意を求めることについて | 鴨川 朗 氏（佐倉） 選任 | 全員一致で同意 |
| 同意第9号 | 固定資産評価委員の選任につき議会の同意を求めることについて | 鴨川 朗 氏（佐倉） 選任 | 全員一致で同意 |
| 発議第9号 | 国民健康保険医療費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める意見書について | 各種医療費助成制度等に係る国保国庫負担金の調整（減額）の廃止を求める意見書の提出 | 全員一致で可決 |
| 請願第1号 | 所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出を求める請願について | 配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しない条文の廃止を求める意見書の提出についての請願 | 賛成少数で不採択 |

◆賛否が分かれた議案

| 議案番号 | 議員名（議席順） 案件・結果（賛成=○ 反対=× | 河原崎恵士 | 渥美昌裕 | 櫻井 勝 | 植田浩之 | 阿形 昭 | 齋藤 洋 | 松下久己 | 水野克尚 | 大澤博克 | 若杉泰彦 | 大澤 満 | 増田雅伸 | 清水澄夫 | 杉浦謙二 | 阿南澄男 |
|------|-----------------------------|-------|---------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 請願第1号 | 所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出を求める請願について | 不採択 | × | × | × | × | ○ | × | ○ | × | × | × | ※ | ○ |

※議長は採決には加わりません。

一般質問

11名が登壇 市政を問う
*この一般質問は6月15日と16日に行われたものです。

7つの課題の公約について



阿南 澄男

問 選挙公約のうち「災害に強いまちづくり」は、どのように考えているか

答 地震・津波などの被害から住民を守る避難手段の早急な整備や、さまざまな自然災害時に迅速に対応できる行政組織の再構築が課題です。

問 観光資源などの地域資源を活用した事業に取り組めます。今後も働く場所を確保するためにも、特に第一次産業である農業・漁業の振興を初め、企業誘致の推進を図ります。

問 「インフラ整備と長寿命化について」はどのように考えているか

答 人口減少や少子高齢化に伴う社会ニーズの変化、市が保有する公共建築物やインフラ資産などの公共施設の老朽化の進行や更新時期が集中することにより、公共建築物については長期的な視点に立って適正な管理に努めていきます。

ケーブルテレビ事業について



杉浦 謙二

問 ケーブルテレビ事業については、年々加入率が低下している。加入率が低下すると公共性が問われるが、問題点は何か

答 新しい高度情報化社会に適応した住みやすく豊かなまちづくりを目的にケーブルテレビ施設を整備され、浜岡地区は平成14年4月に、御前崎地区は平成17年4月に開局しました。

| | |
|-----------------|---------------|
| 開局から平成27年までの事業費 | 今後の事業費 |
| 平成10年～平成27年まで | 平成28年～平成30年まで |
| 94億6千万円 | 17億3千万円 |

問 建て替えにかかる費用はどれくらいを見込んでいますか

答 校舎建設に24億2,886万6千円です。既存校舎の取り壊し費用などを考慮し、約33億円を見込んでいます。

浜岡中学校校舎建て替えについて 随意契約の透明性について



阿形 昭

問 設関係等コンサルタントを公表対象案件としています。公表内容は、担当課名、工事名、工事概要、契約締結日、契約の相手方、契約額、予定価格及び随意契約理由です。

問 随意契約の割合は

答 特別会計を含む工事請負費では、130万円以上の工事の全契約額が約17億1,900万円です。そのうち6.5%が随意契約です。50万円以上の建設関係等コンサルタ

ントの業務委託の全契約額が2億2,400万円です。そのうち22.3%が随意契約です。

問 誰が業者を選定しているのか
答 各担当課において行っています。

問 随意契約の公表方法は

答 御前崎市ホームページで公開しています。市では、130万円以上の工事、50万円以上の建

問 校舎建て替えなどに使う学校教育施設整備基金の残高は

答 平成28年5月31日現在、22億7,593万7,748円あります。



浜岡中学校

問 「産業振興発展と働く場所の確保について」は、どのように考えているか

答 商工会や金融機関との協力しながら、市内の創業・企業に対する支援体制を充実させ、地域に根差した創業・起業者をふやすことにより、働く場所の創出を目指していきます。

柳澤市政「7つの政策」

1. 人口減少および少子化対策と子育て支援
2. 教育環境の充実と未来を創る人づくり
3. 福祉・医療・介護の充実
4. 災害に強いまちづくり
5. 産業振興発展と働く場所の確保
6. 地域の活性化と交流人口の拡大
7. インフラ整備と長寿命化

今後最新の設備更新や伝送路の光ケーブル化を進めていかなければなりません。多額の費用がかかり、財政運営上困難であることから、必要最低限の設備更新を行う計画です。



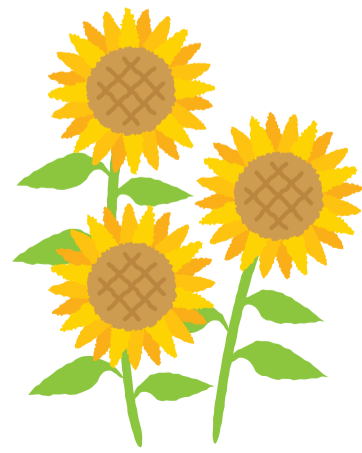
(株) 御前崎ケーブルテレビ

問 早ければ30年度には中部電力の発電・小売部門の会計方式が、総括原価方式から一般企業会計方式へ変更されるが、その市内周知度及び市内経済に与える影響は

答 これまで総括原価方式により、発電所や送電施設などの建設に係る費用となる資本コストが担保されていたわけですが、総括原価方式の撤廃が原子力政策に関してどのような影響があるのか、今後、国の動向を注視するとともに

問 「エネルギー構造転換理解促進事業」交付申請の進捗状況は

答 この事業の詳細については、現在、国が交付要綱を作成中のため、具体的内容が明確になりましたら、対象となる事業について調査・研究をし、積極的な取り組みをしていきたいと考えます。



齋藤 洋

子育て支援について 交流人口の拡大について



水野克尚

問 子育て支援について、経済的支援はどのように行うのか。また、財源は何を充てるのか

答 29年度から0歳から6歳未満の未就学児に対し、一律の支援金を児童手当に上乗せして支給することを検討しています。また、第2子以上の保育園・幼稚園の給食費部分の助成を実施する方向で考えています。財源は、一般財源になります。

問 御前崎港はどのよう
に有効活用していく
のか

答 帆船や客船の誘致に
より、港湾周辺のに
ぎわいを創出していき
たいと考えています。

問 御前崎港のコンテナ
取扱量は、全国比0・
15%であるが、総合計画
では5年後、10年後も0・
15%と貨物量は増えない
と予想している。どのよう
に対応するのか

答 港湾の荷役も減って
いますが、コンテナ
船以外にも新たにバルク船
など補助対象を創設したた
め、その効果を見きわめな
がら、新たな航路を検討し
ていきたいと思っていま
す。



御前崎港

問 市内の危険箇所の把
握と事前の防災体制
の現状は

答 市の土砂災害危険箇
所は370箇所、そ
のうち土砂災害警戒区域が
284箇所指定されていま
す。さらに、「土砂等の崩
壊によって、住宅等の建物
が倒壊し、住んでいる人の
生命や身体に大きな危害が
生ずるおそれがある区域」
が281箇所指定されてい
ます。

問 災害発生時、
市の対応、対
処策は

答 災害状況に心
じた職員配備
の基準、体制、要員
の配備体制が構築さ
れています。
近年、台風、集中
豪雨による水害など
が全国で頻繁に発生
していますが、当市

災害に強いまちづくりについて



渥美昌裕

においては、「避難勧告等
の判断・伝達マニュアル」
が策定済みであり、それぞ
れの災害による判断基準に
沿って決定し、同報無線や
音声告知放送などの媒体
で、早めの避難を呼びかけ
ることが可能となっていま
す。



新野川の現況

第2次御前崎市総合計画 第4章経済産業分野について



河原崎恵士

問 地域資源を組み合わせ
た産業を生み出す
取り組みについての具体策
は

答 お茶、メロン、イチ
ゴ、牛肉などの特産
農産物、有数の水揚げ量を
誇る生力ツオなどの水産
物、観光資源などを活用し
た事業に取り組みます。

問 電源地域の優位性と
御前崎港を活用した
企業誘致策についての考
え

答 電気料金に対する補
助制度や港という他
市にない優位性を生かした
企業誘致を進め、さらに、
企業立地可能性調査で誘致
に適した新たな企業の検討
をすること
及び御前崎
市独自の企
業誘致制度
の創設も進
めます。

問 農業法人などの誘致
について具体例はあ
るか

答 芝生を栽培・育成す
る企業、農産物を総
菜に加工する企業からの耕
作用地の引き合いがありま
す。農業分野へ進出する企
業に対する御前崎市独自の
支援制度も検討します。

問 第2次御前崎市総合
計画の市民への周知
方法は

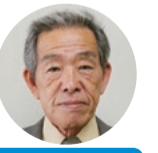
答 市の広報紙の平成28
年3月号に概要を記
載してあるとともにホーム
ページ上で確認することも
できます。さらに市民と対
話ができるタウンミーティ
ングなどの機会を利用して
周知を図ります。



特産品のPRポスター

都会で
食べれば高級食。
御前崎なら
今日の夕食。

これからの公共施設建設について 寺坂線の改修工事について



大澤博克

問 御前崎地区に公民館
建設の計画がある
が、南海トラフ大地震など
の災害を考えると、防災に
重点をおいた多目的な機能
を持った施設が必要だと思
うが、その考えは

答 自然災害を考
える
と、建設される施設
には、震度7の地震、その
後に起る余震にも耐えら
れる耐震性が求められ、災
害時には情報収集や伝達の
拠点、避難所として重要な
施設になると考えます。
本年度、公民館のあり方
検討委員会を立ち上げ、今
までどおりの社会教育法に
沿った公民館でいくのか、

問 寺坂線は区
の津波避難
路として利用すべ
き幹線道路だが、
崩壊の危険性があ
り、現状のまま
は避難計画に支障
がある状態だ。改
修計画の予定は

答 市道寺坂線
は、26年度
の道路ストック総
点検で、一部補修
が必要な箇所が確
認されていますので、順次
補修していく予定です。
今後の整備計画について
は、本年度策定する第2次
御前崎市道路整備計画の中
で方向性を検討していき
たいと考えています。



市道寺坂線

市立保育園の開園時間について インフルエンザ等発生時における 学校の対応について



櫻井 勝

問 仕事と子育ての両立
を支援するために、
開園時間を午前7時にする
考えは

答 御前崎市保育所条例
施行規則第6条によ
り、保育時間は午前8時15
分から午後4時15分までの
8時間、開所時間は
午前7時30分から午
後6時30分までの11
時間と定め、運営し
ています。
高松保育園は、基
本的な開所時間は公
立園と同じですが、
国の保育対策等促進
事業の補助を受け、
11時間の前後30分
の延長保育を実施
しています。
公立園の延長保育
については、今後の

問 インフルエンザなど
による学級閉鎖の判
断基準と児童生徒へのワ
クチン接種費用助成の考
えは

答 学級閉鎖は、欠席者
の割合が概ね20%を
超えるあたりが目安とな
りますが、インフルエン
ザ罹患による欠席者数が何%
だからということだけでは
なく、今後拡大のおそれ
があるかどうかを判断して決
定しています。特別支援学
級も同じです。
高齢者以外のインフル
エンザ予防接種は定期予防接
種でないため、今のところ
インフルエンザワクチンの
接種費用を助成する考えは
ありませんが、今後検討し
ていきます。

防災体制について 地域活性化について



松下久己

問 消防の新防災拠点の運用が開始されるが、大規模災害、特殊災害への対応力に対する消防広域化についての見解は

答 複雑多様化する災害、救急需要の増加、大規模な災害が懸念される地震などに対応するには、小規模な消防組織では限界があります。そのため、消防広域化が全国で進められ、県内では、平成28年4月に25消防本部から16消防本部になりました。当地区においても東遠地区消防救急広域化検討会事務局会議の中で広域化に向け検討してきましたが、大きな進展はありません。今後、広域化の期限を見据えながら慎重に進めていく必要があると考えます。

問 御前崎市は御前崎港を核とした活性化を進めるべきで、クルーズ船の寄港、貿易に関する荷主の変更、荷主の獲得についての進捗状況は

答 27年度より客船誘致の取り組みを開始。清水港の視察、国交省港湾局の全国クルーズ活性化会議に入会、情報交換を行っています。誘致には観光資源が寄港の決定要素ですので、関連市町と連携して寄港に向けた準備を進めます。貿易拡大については、御前崎港振興会事業により、航路や貨物に対する助成制度を始め、今後も貿易拡大に繋げていきたいと考えています。

問 浜岡原発再稼働の動きがある。UPZ圏内の7市長は再稼働に反対しているが、市長の考えは

答 新規制基準の適合性審査が行われている段階での発言は、控えさせていただきます。

原発再稼働問題及び 避難計画・避難タワー建設について 浜岡砂丘の埋め立ての問題点について



清水澄夫

問 原発の過酷事故に対する市民、高齢者の避難計画、避難訓練は、今後どのように策定するのか

答 市の広域避難計画骨子は概ね出来ています。避難ルート、受入先などは、県と調整しながら公表していきたいと考えます。

問 津波避難タワーの設置について

答 平成28年9月から12月にかけて各地区単位で事前説明会を開催し、災害時には速やかに服用できるよう、安定ヨウ素剤を配布したいと考えます。

問 砂丘に埋め立てた砂はどこから運び、運んだ目的は何か。また、県は承認をしているのか

答 砂は、中電の安全性向上対策工事で発生した砂で、浸食された砂丘復元のために盛土したものです。県と事前協議し、許可を受けています。

問 緊急時対策所の機能強化について

答 福島第一原子力発電所事故相当の放射性物質の大量放出事象を想定し、緊急時対策所の放射線遮へい対策等を実施するため、耐震構造の建物を設けて緊急時対策所を強化します。以上、中部電力(株)から報告を受けました。

委員会報告

原子力対策特別委員会

平成28年6月21日に委員会を開催しました。内容は次のとおりです。

1 中部電力(株)からの浜岡原子力発電所の状況について

中部電力(株)では、現在、次のような安全性向上対策に取り組んでいます。

(1) 内部火災対策について
火災により原子炉施設の安全性が損なわれないよう、次の3つの対策を実施します。

- ① 火災発生防止：発火性又は引火性物質を内包する系統に油受け約70台設置
- ② 火災感知及び消火：火災感知器約2千箇所追加、電源盤や油内包機器、ケーブルトレイに自動消火装置を追加設置
- ③ 火災の影響軽減：耐火能力を有する障壁の追加設置等

(2) 内部溢水対策について
万が一建屋内が浸水した場合に對して、水密扉の設置や配管接続部からの浸水防止のため止水剤を充てんするなど安全上重要な機能を損なわれないよう対策を図ります。

(3) 注水機能強化について
これまでの注水手段に加えて、建屋内注水配管の追加設置や可搬設備による注水を可能とするための工事を実施します。

(4) フィルタベント設備配管設置工事について
万が一重大事故が発生した場合、格納容器の破損防止のため格納容器ベントが必要となります。この際に、セシウムなどの粒子状の放射性物質の放出を低減して長期的な土壌汚染を防止するため、フィルタベント設備を設置します。

(5) 緊急時対策所の機能強化について
福島第一原子力発電所事故相当の放射性物質の大量放出事象を想定し、緊急時対策所の放射線遮へい対策等を実施するため、耐震構造の建物を設けて緊急時対策所を強化します。以上、中部電力(株)から報告を受けました。

2 浜岡原子力発電所の安全確保等に関する協定書について

委員の構成が新しくなったことに伴い、県と御前崎市・牧之原市・掛川市・菊川市の4市が中部電力(株)と締結している安全協定についての認識を新たにするため、委員会の中で学習会を開きました。

内容は、秘書政策課原子力政策室の担当者から協定締結の経緯や目的についてまず説明があり、委員からは廃炉や再稼働、安全協定に関する質問が出されました。



完成間近の消防庁舎

問 ヨウ素剤の配布方法と配布完了の時期は

答 佐倉一区は徒歩で津波浸水区域外への避難が可能な区域です。避難ルートの再確認や高齢者避難に伴う支援のソフト対策を進めていきたいと考えます。



浜岡砂丘入口

福島第一原子力発電所事故相当の放射性物質の大量放出事象を想定し、緊急時対策所の放射線遮へい対策等を実施するため、耐震構造の建物を設けて緊急時対策所を強化します。以上、中部電力(株)から報告を受けました。

安全性向上対策工事の状況について

【重大事故等に備える】

仮に原子炉施設の安全を確保するための機器が機能喪失しても、冷やす機能を確保し、重大事故に至らないようにします。

また、万が一重大事故等が発生した場合に備え、事故の進展を防ぐ機能を強化します。

＜電源対策＞

- ⑥ ガスタービン発電機
- ⑦ 電源車
- 予備蓄電池
- 災害対策用発電機



＜注水対策＞③

- ⑥ 緊急時淡水貯槽
- ⑧ 可搬型注水ポンプ車
- ⑨ 可搬型取水ポンプ車



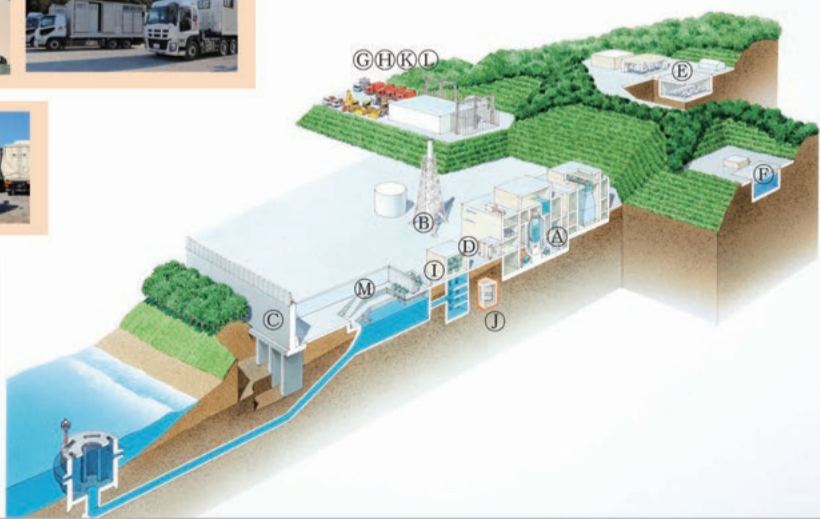
＜除熱対策＞

- ① 緊急時海水取水設備
- ① フィルタベント設備④
- ① 代替熱交換器車



＜その他対策＞

- 緊急時対策所機能強化⑤
- 可搬設備保管場所・アクセスルート



中部電力株式会社より提供

総合開発計画策定特別委員会

平成28年6月21日に委員会を開催しました。内容は次のとおりです。

第2次御前崎市総合計画の取り組み状況について

第2次総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画で構成されています。基本構想は、御前崎市が目指す将来都市像、基本目標、施策の基本方針などまちづくりに取り組むための基本的な考え方を示すものです。基本計画は、基本構想に掲げた施策の方針に沿って、今後10年間に取り組むべき施策を総合的に示したものです。実施計画は、基本計画に沿って具体的な事業を定めるもので、計画期間は3年間です。毎年見直しをかけ、修正や補正をしながら進めていきます。

計画は27年度に策定し、平成28年4月にスタートしました。

新市長による新たな施策については、次回の29年度から31年度の実施計画の中に盛り込んでいく予定です。

以上、執行部から計画書に沿って説明を受けました。

委員会からは今後の議論を進めていく上で財源の裏付けが必要になることから、今後10年間の長期財政見通しを提示するよう執行部に求めました。



第2次御前崎市総合計画 表紙

| 年度 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | H31 2019 | H32 2020 | H33 2021 | H34 2022 | H35 2023 | H36 2024 | H37 2025 |
|------|-----------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 基本構想 | [Blue arrow spanning all years] | | | | | | | | | |
| 基本計画 | [Orange arrow spanning all years] | | | | | | | | | |
| 総合計画 | [Purple arrow spanning all years] | | | | | | | | | |
| 実施計画 | | | | | | | | | | |

第2次御前崎市総合計画 実施計画スケジュール

9月定例会の予定

9月定例会は、8月29日(月)から9月30日(金)までの33日間の会期で開催される予定です。日程は、変更になる場合がありますので、事前に議会事務局(電話85-1115)までお問い合わせください。

- 8月 29日(月) 本会議(議案説明)
- 9月 8日(木) 本会議(質疑・一般質問)
- 9日(金) 本会議(一般質問)
- 12日(月) 総務経済委員会
- 13日(火) 文教厚生委員会
- 14日(水) 一般会計予算決算審査特別委員会
- 15日(木) 一般会計予算決算審査特別委員会
- 16日(金) 一般会計予算決算審査特別委員会
- 20日(火) 特別委員会
- 30日(金) 本会議(質疑・討論・採決)

議会を傍聴しませんか?

- 市議会はどなたでも傍聴することができます。
- 事前予約は必要ありません。当日、市役所4階議会事務局へお越しください。

◎傍聴に来られない方も市議会の様子をご覧ください!!

本会議の内容は、おまえざきケーブルテレビの市民チャンネルのデジタル121チャンネルで放映されます。放送日については、その都度、音声告知放送にてお知らせします。

◎耳の間こえにくい方のためにイヤホン型の補聴支援用機器を3台購入しました。数に限りがありますので、先着申込順に貸出いたします。利用を希望される方は、傍聴受付の際にお申し出ください。

市民の皆様の声をお寄せください

議会だより作成や編集に役立てるため、議会だよりの感想をお聞かせください。郵送・ファックス・Eメールで受付します。

- ◇住所・氏名・電話番号を明記してください。
- ◇お便りの返却はいたしません。

あて先

御前崎市議会 議会広報特別委員会
〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585
TEL : 0537-85-1115 / FAX : 0537-85-1139
E-mail : gikai@city.omaezaki.shizuoka.jp

お歳暮やお年賀
入学祝・卒業祝
病氣見舞い
秘書等が代理で出席する場合の結婚祝
秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典
葬式の花輪・供花
落成式・開店祝の花輪
町内会の集金や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入
お祭りへの寄附や差入
地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入

**政治家の寄附行為は
禁止されています**

政治家(候補者・候補者となろうとする者・現に公職にある者)は、公職選挙法により選挙区内の人に対して寄附やあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことは禁止されています。皆様のご理解をお願いいたします。

**贈らない!
求めない!
受け取らない!**

新しい委員の紹介



- 委員長 若杉 泰彦
- 副委員長 河原崎 恵士
- 委員 後列 河原崎 恵士
- 委員 渥美 昌裕
- 委員 櫻井 勝
- 委員 植田 浩之

議会広報特別委員会から
委員が新しいメンバーになりました
本年4月に実施された臨時議会で広報委員に選任された新メンバーです。これから2年間市議会だよりを発行させていただきます。
市民の皆様のお役に立つ議会情報を発信していきますので、いろいろなご意見を頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

| 議会の様子 |
|--|
| 4月 22日 第1回臨時議会 議会全員協議会 |
| 5月 17日 新議員研修会 18日 新議員研修会 19日 全国原子力発電所所在市町村議会総会 24日 議会運営委員会 新議員研修会 牧之原市御前崎市広域施設組合議会臨時会 相寿園管理組合議会臨時会 |
| 6月 1日 市議会議員共済会第112回代議員会 3日 6月議会定例会本会議(初日) 静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会 浜岡原子力発電所安全等対策協議会総会 13日 6月議会定例会本会議(一般質問) 15日 6月議会定例会本会議(一般質問) 16日 6月議会定例会本会議(一般質問) 21日 総合開発計画策定特別委員会 原子力対策特別委員会 28日 議会運営委員会 30日 6月議会定例会本会議(最終日) 議会全員協議会 一般会計予算決算審査特別委員会 |